学校番号	1008

令和８年度　家庭科

教科	家庭科	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	保育基礎（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもの発達の特性、子どもの発達過程、子どもの生活、子どもの保育、子どもの福祉と子育て支援等について学びます。
・保育所実習や、絵本の制作、離乳食の調理実習なども予定しています。
・子どもに関心をもち、子どもを取り巻く環境や課題について考えましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
周りの生徒と共同しながら主体的に学び，保育に関わる知識や技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
保育に関わる課題について思考を深め，課題を発見する。
【学びに向かう力、人間性等】
実際に乳幼児とふれあう学習など，実践的な学習活動を行い、保育の意義や方法，子どもの発達と生活の特徴，子どもの福祉や文化について理解する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識、特性や発達過程に対応した技術を身につけている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、思考を深め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身につけている。	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	子どもの保育	保育の意義 保育の方法 保育の環境	a：保育の意義やその重要性に関して理解し、知識を身につけている。 b：子どもとの適切な関わりについて思考し、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：保育の意義、方法、環境等について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査 ワークシート 作品制作	定期考査 レポート 作品制作 発表	ワークシート レポート 作品制作 グループワーク 発表 実習観察
	子どもの発達	子どもの発達の特性 子どものからだの発達 子どもの心の発達	a：乳幼児期の重要性、発達と環境、発達観や児童観などに関する知識を身につけている。 b：子どもの発達観について考察し、課題を見いだし、その解決をめざして考え判断し、表現している。 c：人間の発達に関して関心を持ち、乳幼児期の発達について意欲的に学習に取り組もうとしている。			
2	子どもの生活	子どもの生活と養護 生活習慣の形成 健康管理と事故防止	a：子どもの養護の必要性と目的について理解し、必要な知識・技術を身につけている。 b：子どもにとっての適切な生活の条件について思考し、課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c：子どもの生活全般について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。			
	子どもの文化	子どもの文化の意義と支える場 子どもの遊びと表現活動				

3	子どもの福祉	子ども観 子どもの福祉 子育て支援	a: 児童福祉の考え方やそれに関わる制度を知識として習得している。それらを踏まえて、子どもや子育てを取り巻く問題点や課題にまで踏み込んで分析し、望ましい方向性について理解している b: 具体的な施策の必要性がわかり、今後の方向性を判断することができる。現代の問題点や課題について自身の考えを述べることができる。 c: 児童福祉に関する考え方や法律・制度・機関等について、関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度